

本校生物生産科卒業生(令和5年度卒業)が、南日本新聞に掲載されたので紹介します。

日置 県立農大校 77人入学



新入生を代表し決意を述べる寺地敦真さん
＝10日、日置市の県立農業大学校(濱田翔也撮影)

鹿児島県立農業大学校(日置市)の2024年度入学式が10日あり、養成部77人が農業の担い手を目指し新たな一歩を踏み出した。

定員充足率 前年より減

養成部門の定員充足率は前年度比6・1%減の61・7%。同部門の茶業科(定員15人)は過去最低の1人だった。養成部門は農、畜産の2学部7学科ある。充足率100%の酪農科(同10人)以外は定員割れ。野菜科(同35人)は前年より28・6%も低い54・2%で、最も減少した。同校の担当者は「農学部は元々、非農家出身の割合が高い。高校生の進路先が就職に流れているのでは」と推測した。同校によると、農業系高校出身者の割合は67・6%で前年から13・8%増えた。農家出身率は45%。県外出身者は東京都や北海道などからの計11人で、最高齢は47歳だった。

式では肉用牛科の寺地敦真さん(18)が、新入生を代表して宣誓。非農家出身で繁殖農家への就農を目指しており、「同じ志を持つ仲間と切磋琢磨したい。品評会で高い評価を受ける牛を育てられれば」と意気込んだ。(濱田翔也、大神紅葉)